

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">心理学実験実習 I</p>	<p>対象学科・学年 教育教福 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">和田野 康子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>心理学実験を通して、心理学研究法の基礎を学ぶ</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>下記に示すテーマの心理学実験に参加し、データの収集と分析のしかたを学習する。また結果を報告するためのレポートの書き方を習得する。 本科目の履修は、心理コース専攻学生のみとする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席状況と、テーマごとに提出する実験結果のレポートの評価を総合して評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>なし 必要に応じて資料を配付する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ①オリエンテーション ②「両側性転移」実験の事前指導</li> <li>2. 「両側性転移」の実験実施</li> <li>3. 「両側性転移」の実験実施</li> <li>4. ①「両側性転移」実験結果の整理 ②レポートの書き方の説明</li> <li>5. ①「両側性転移」実験のレポート提出 ②「ミュラー・リヤーの錯視」実験の事前指導</li> <li>6. ①両側性転移」実験のレポート講評 ②「ミュラー・リヤーの錯視」実験実施 ③ t 検定の説明</li> <li>7. 「ミュラー・リヤーの錯視」実験の結果の整理</li> <li>8. ①「ミュラー・リヤーの錯視」実験レポート提出 ②実験「触2点閾の測定」の事前指導</li> <li>9. ①「ミュラー・リヤーの錯視」実験レポートの講評 ②「触2点閾の測定」実験実施</li> <li>10. ①「触2点閾の測定」実験の結果の整理</li> <li>11. ①「触2点閾の測定」実験のレポート提出 ②「要求水準—目標設定行動と満足感」実験の事前指導</li> <li>12. ①「触2点閾の測定」実験のレポート講評 ②「要求水準—目標設定行動と満足感」実験の実施</li> <li>13. 「要求水準—目標設定行動と満足感」実験結果の整理</li> <li>14. 「要求水準—目標設定行動と満足感」実験レポート提出</li> <li>15. 「要求水準—目標設定行動と満足感」実験レポートの講評</li> </ol>		